広報

とうきょう消化 第23号 TOKYO FIRE NEWS NEWS

平成28年10月23日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ:http://www.tfd.metro.tokyo.jp



E な | < 2·3面 > 高齢者を火災から守ろう!/住まいの防火防災診断!/119番通報のかけかた/ 動内容 | まな病気やケガで迷ったら…東京消防庁救急間とフター 東京版救急受診ガイド



通信製造が多大切がある。

平成27年中の東京消防庁管内における住宅火災による死者数は 69人でした。

住宅火災の主な死者発生原因として、たばこ・こんろ・ストーブがあげられます。火災を防ぐポイントを確認して尊い命を守りましょう。

住宅火災での主な死者発生原因

発数 16人

▶たばこによる火災防止ポイント!

- □ 寝たばこは、絶対にしない
- □ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- □ 吸殻を灰皿にためない
- □ 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- □ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

たばるによる火災の事例

飲酒後、布団の上で喫煙し、 たばこの火種が落下したこと に気づかずに就寝したため、 火災となった。



たばこによる住宅火災が原因で亡くなった方の88%は「たばこの火種の布団類等への落下」が原因です。

とんろ物

こんろによる火災防止ポイント!

- □ 調理中に離れない
- □ 周囲に燃えやすいものを置かない
- □ 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- □ 防炎製品のエプロンやアームカバーを使用する
- □ 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する

とかろによる火災の事例

調理後ガステーブルの火を 消さず放置したため、周囲の 台所用品に着火し火災となっ た。



こんろによる住宅火災が原因で亡くなった方の57%は 「着衣への着火」が原因です。

ス ア 7

ストーブによる火災防止ポイント!

- □ 周囲に燃えやすいものを置かない
- □ 外出時、就寝時は必ず消す
- □ 石油ストーブ等は必ず消してから給油する
- □ 洗濯物を乾かすために使用しない
- □ 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

ストーデアルス火災の事例

居住者は、電気ストーブをつけたまま就寝してしまい、掛布団が電気ストーブに接触したため、火災となった。



、 ストーブによる住宅火災が原因で亡くなった方の57%は 「電気ストーブ」が原因です。

電気ストープ火災注意報発令中間

電気ストーブによる火災は、毎年80件程度発生しており、電気製品等では最も多く死者が発生しています。中でも死者の70%が75歳以上の後期高齢者です。一人暮らしで、就寝中の火災により亡くなった方が多いことも特徴です。手軽で一見安全に思われる電気ストーブですが、注意して使用することを心がけてください。

